



株式会社ワッツ

(2735 東京証券取引所市場第一部)

# 2018年8月期決算と 2019年8月期業績予想について

2018年10月15日（月）

代表取締役社長 平岡 史生

# 目次



## 決算概要

2018年8月期  
連結決算について

P2 – P6

## 事業別

2018年8月期  
各事業の状況について

P8 – P16

## 事業計画

2019年8月期業績予想と  
各事業の取組みについて

P18 – P23

## 参考資料

ワッツグループについて

P25 – P32



(単位：百万円)

業績ハイライト	2017年8月期		2018年8月期（当期）			
		構成比		構成比	前期比	計画比
売上高	47,494	—	<b>49,444</b>	—	104.1%	99.7%
売上総利益	17,994	37.9%	<b>18,779</b>	38.0%	104.4%	—
販売費及び一般管理費	16,785	35.3%	<b>17,803</b>	36.0%	106.1%	—
EBITDA	1,566	3.3%	<b>1,363</b>	2.8%	87.0%	—
営業利益	1,209	2.5%	<b>975</b>	2.0%	80.7%	67.3%
経常利益	1,272	2.7%	<b>1,037</b>	2.1%	81.5%	68.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	839	1.8%	<b>633</b>	1.3%	75.5%	68.5%
1株当たり当期純利益（円）	61.96		<b>46.79</b>		—	—

- ✓ **売上高**は、100円ショップの順調な出店に加え、当期4月にディスカウントショップを運営する「(有)リアル」を子会社化したこともあり、前期比**4.1%増**。概ね計画通りの着地 →P3
- ✓ **売上総利益**は、売上総利益率が0.1%改善したことで、**4.4%増**となった →P4
- ✓ **営業利益**は、100円ショップ既存店が天候不順を主因として軟調に推移したこと、店舗数増に伴う家賃・人件費の増加や、店舗設営時の人材派遣利用の増加などにより、販管費が高んだ結果、**19.3%減**。利益面では大きく計画未達 →P5



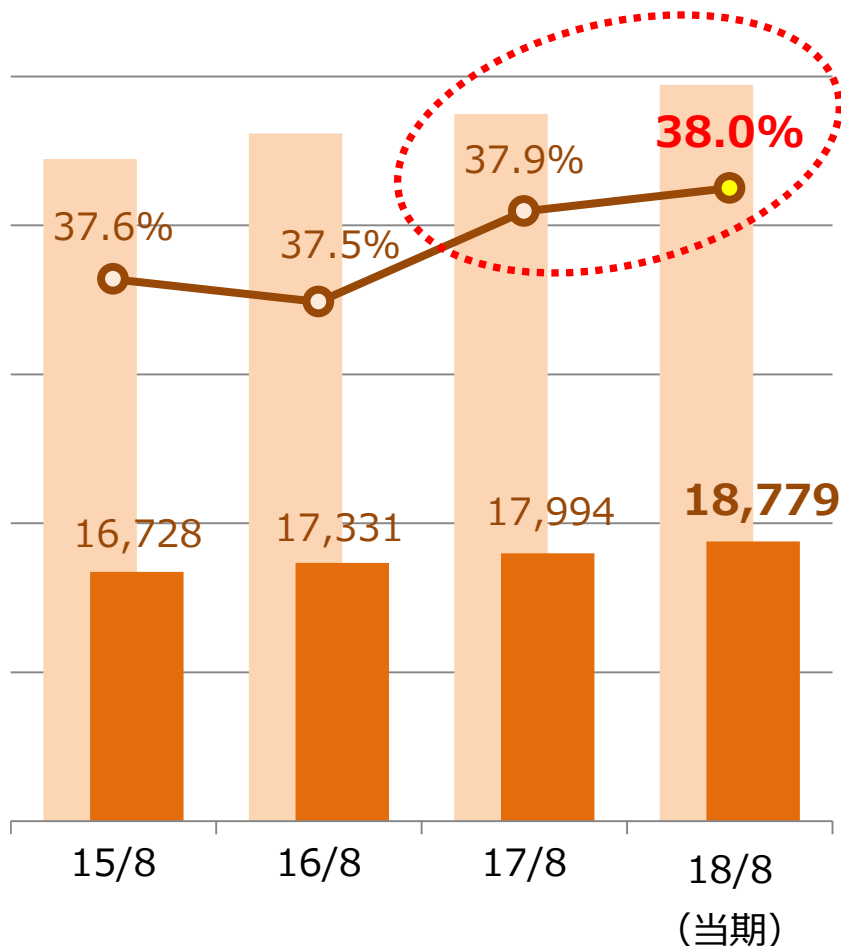
(単位：百万円)

事業部門別売上高		2017年8月期		2018年8月期（当期）		
			構成比		構成比	前期比
100円ショップ	直営	39,824	83.9%	<b>41,243</b>	83.4%	103.6%
	卸その他	3,238	6.8%	<b>2,748</b>	5.6%	84.9%
	小計	43,062	90.7%	<b>43,991</b>	89.0%	102.2%
海外事業	直営	925	1.9%	<b>1,098</b>	2.2%	118.7%
	卸	1,371	2.9%	<b>1,616</b>	3.3%	117.9%
	小計	2,297	4.8%	<b>2,715</b>	5.5%	118.2%
ファッション雑貨	ブオーナ・ビータ	1,792	3.8%	<b>1,814</b>	3.7%	101.2%
	ソストレーネ・グレーネ					
	あまの					
その他	341	0.7%	<b>923</b>	1.9%	270.4%	
合計		47,494	100.0%	<b>49,444</b>	100.0%	104.1%

- ✓ 国内100円ショップ事業の売上高は前期比2.2%増加したものの、FC等の卸売の減少や、海外事業売上高の増加などにより、連結売上高に占めるシェアは1.7ポイント低下
- ✓ 連結売上高に占める海外事業のシェアは4.8%→5.5%となった



■ 売上総利益    ○ 売上総利益率



### 100円ショップ事業では、

- ✓ Wattsブランド店舗を中心に、少しずつ付加価値の高い商品へ入替え
- ✓ 原価率の高い食品の取扱いを縮小し、雑貨販売比率を継続的に引上げ
- ✓ FC、卸を積極的に拡大していないため直営店の構成比が引き続き上昇

### 国内その他事業では、

- ✓ 比較的高い売上総利益率が見込めるBuona VitaやSøstrene Greneの売上シェア拡大を目指す

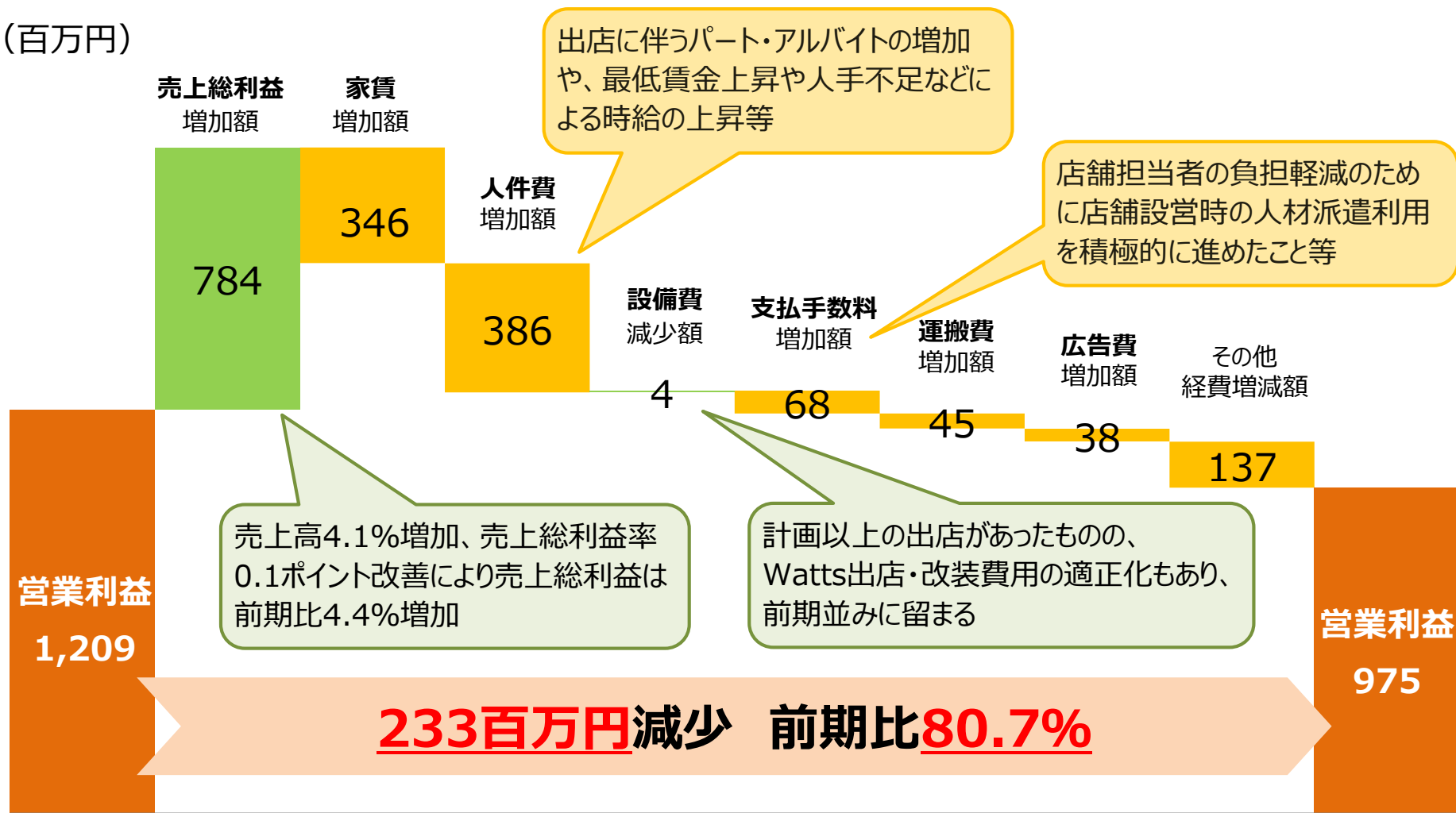
### 海外事業では、

- ✓ 近年、直営店に比べて値入率が低い卸売が拡大しているため、販管費率の動向も注視しながら、あるべき売上総利益率を慎重に見極めていく

## 営業利益の増減要因



(百万円)



出店に伴うパート・アルバイトの増加や、最低賃金上昇や人手不足などによる時給の上昇等

店舗担当者の負担軽減のために店舗設営時の人材派遣利用を積極的に進めたこと等

売上高4.1%増加、売上総利益率0.1ポイント改善により売上総利益は前期比4.4%増加

計画以上の出店があったものの、Watts出店・改装費用の適正化もあり、前期並みに留まる

前期

当期

(単位：百万円)

連結 貸借対照表	2017年8月期		2018年8月期 (当期)	
		増減率		増減率
現金及び預金	5,727	13.8%増	5,147	10.1%減
商品及び製品	6,506	6.5%増	6,811	4.7%増
その他の流動資産	3,043	10.0%増	2,914	4.2%減
有形固定資産	1,538	8.2%増	1,759	14.4%増
その他の固定資産	3,269	3.6%増	3,312	1.3%増
総資産	20,084	8.6%増	19,945	0.7%減
負債	10,210	10.7%増	9,711	4.9%減
純資産	9,873	6.6%増	10,234	3.7%増

(単位：百万円)

連結 キャッシュ・フロー	2017年8月期		2018年8月期 (当期)	
		増減額		増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,157	428	687	△469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△525	176	△615	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	55	149	△658	△714
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	60	5	△3
現金及び現金同等物の期末残高	5,727	696	5,147	△580
フリーキャッシュ・フロー	631	605	72	△559

- ✓ 自己資本比率は52.2%。前期末から2.5%上昇
- ✓ 100円ショップの積極的な出店・改装により商品及び製品は305百万円増加。さらに有形固定資産では工具、器具及び備品が113百万円増加
- ✓ 長期借入金239百万円返済などにより負債は4.9%減
- ✓ 利益剰余金は前期末から429百万円増加

- ✓ 営業活動によるキャッシュ・フローでは税金等調整前当期純利益が297百万円、未払消費税等が222百万円、それぞれ減少
- ✓ 財務活動CFでは長期借入による収入が671百万円減少

# 目次



## 決算概要

2018年8月期  
連結決算について

P2 – P6

## 事業別

2018年8月期  
各事業の状況について

P8 – P16

## 事業計画

2019年8月期業績予想と  
各事業の取組みについて

P18 – P23

## 参考資料





ワッツグループについて

P25 – P32









## 国内100円ショップ事業

 	出退店の状況	通期計画の出店108店、退店75店に対して <b>141店出店</b> 、 <b>67店退店</b> し、期末店舗数は <b>1,161店</b> （純増74店） →P10
 	Wattsブランド店舗	売上規模に応じた投資額で出店する「Watts with」モデルの確立により出店・改装が加速し、162店増加して <b>419店</b> →P11

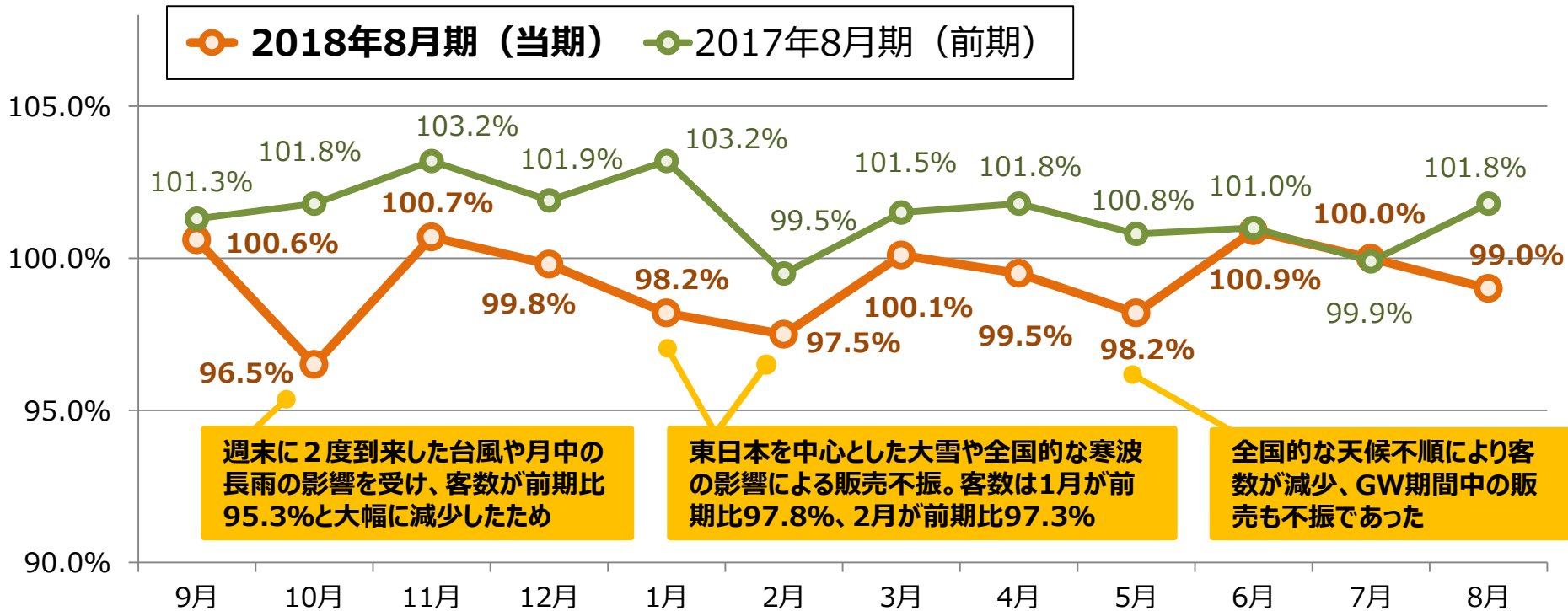
## 海外事業

	グループ内 売上高	海外事業の売上高は前期比 <b>118.2%</b> 。連結売上高に占めるシェアも4.8%→ <b>5.5%</b> と拡大 →P12
	海外店舗数	当社商品を取り扱う店舗は、当社グループ内で <b>72店</b> （6店増）、現地パートナーの店舗を合わせると <b>110店超</b> →P13

## 国内その他事業

	Buona Vita (ブォーナ・ビィータ)	心地よい生活を提案する雑貨店。4店減少で21店。品揃えの改善など既存店の実力アップに注力 →P14
	Søstrene Grene (ソストレーネ・グレーネ)	デンマークのライフスタイル雑貨店。4号店まで出店。ブランド認知度向上と事業規模を拡大して採算ベースに乗せる →P15

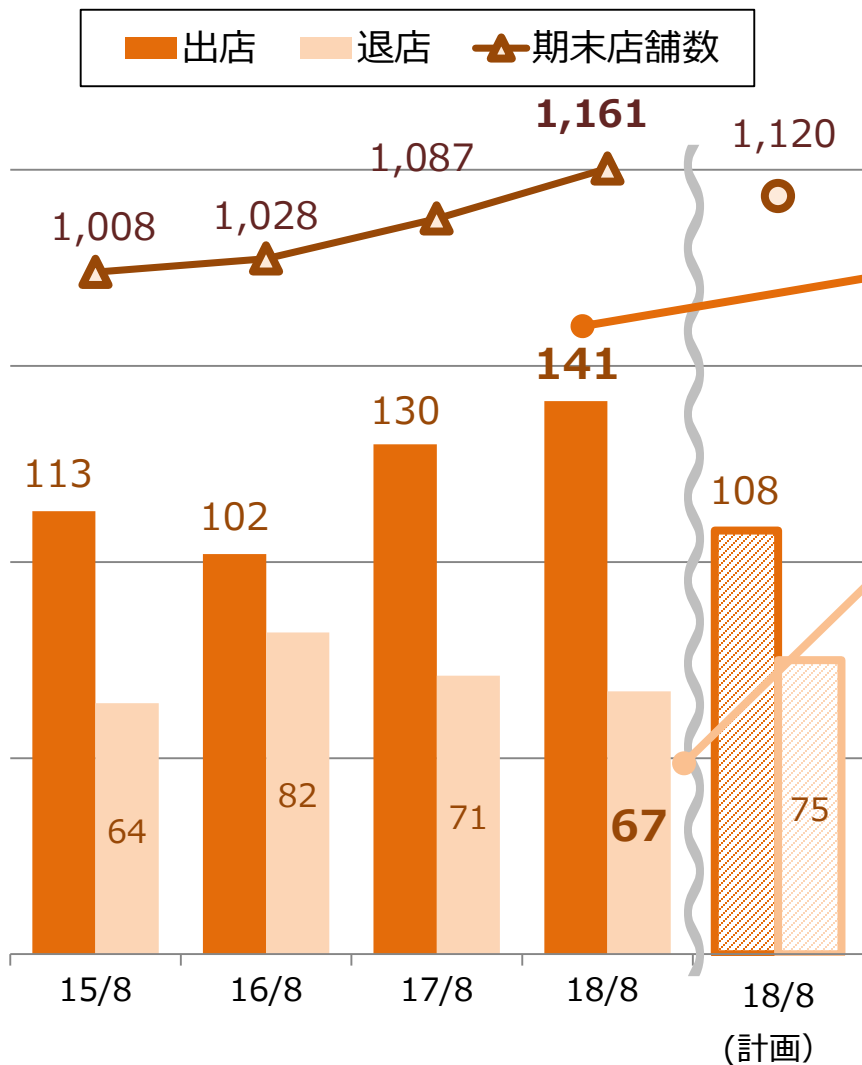
## 100円ショップ事業の状況① ～既存店売上高対前年同月比の推移～



通期累計	売上高	客数	客単価
前年同期	101.5%	100.5%	100.8%
当期	99.3%	98.6%	100.5%

※ 足もと9月の売上高は101.4%

- ✓ 客単価はすべての月で前期を上回ったものの、度重なる天候不順などの影響で客数が軟調に推移したこともあり、通期計画の101.0%には及ばなかった
- ✓ Wattsブランド店舗売上高は対前期比100%超えを達成



### 出退店計画と実績

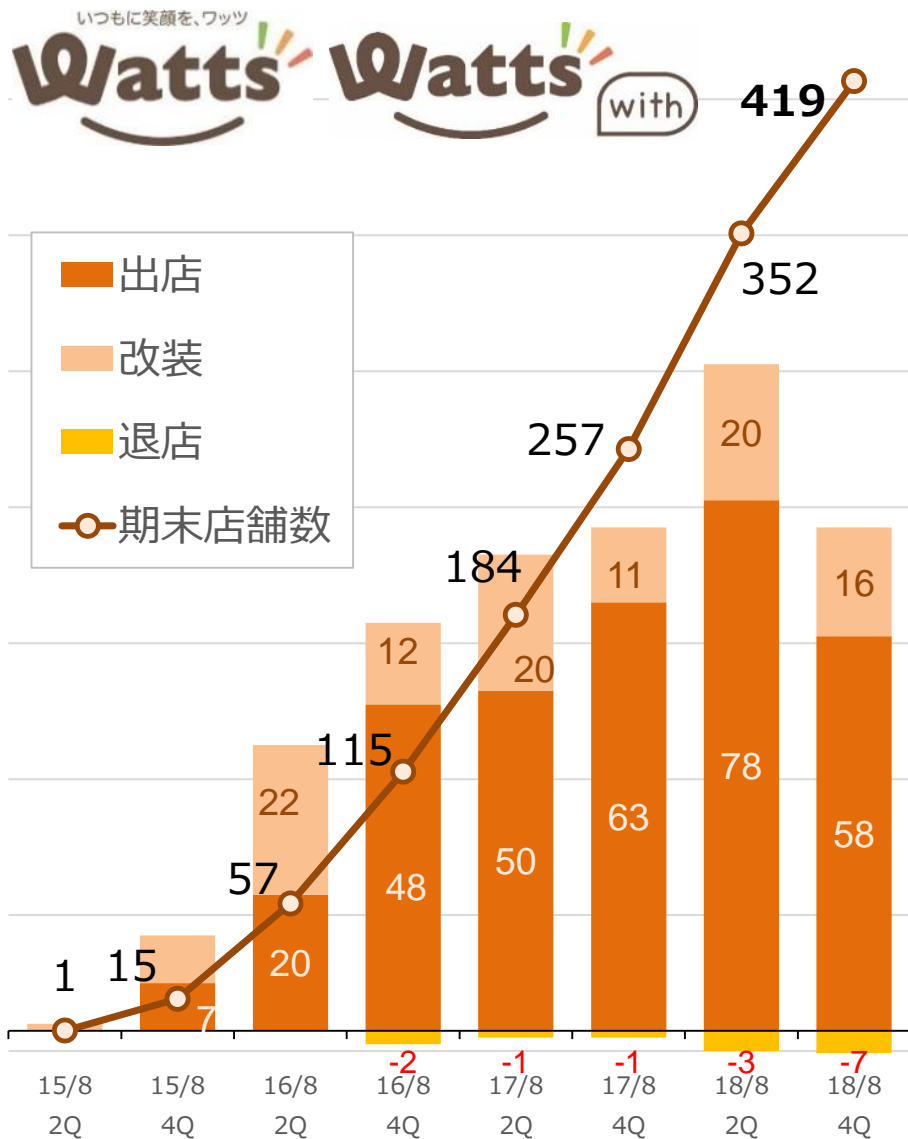
出店計画 108店 → **141店**出店

退店計画 75店 → **67店舗**退店  
(内FC10店舗)

- ✓ 比較的売上規模の小さい委託販売型店舗が多い傾向が続くものの、出店は通期計画を大きく上回った（計画比33店超）
- ✓ 委託販売型店舗の出店余地はまだまだあり、出店141店のうちの113店を占める
- ✓ 期末店舗数は計画を上回る1,161店舗

## 100円ショップ事業の状況③

～「Watts」ブランド店舗の出店・改装実績～



2018年9月 ワッツ小田原ダイナシティウエスト店 (神奈川県)

- ✓ 全1,161店に占める割合は**36.1%**
- ✓ 売上に応じた複数の出店モデルを確立したことで前期末から162店増加
- ✓ 出店は原則Wattsブランドで行い、改装も投資回収見込みを精査して順次進める

## 海外事業の状況①

～売上高（直営・卸売）の推移～

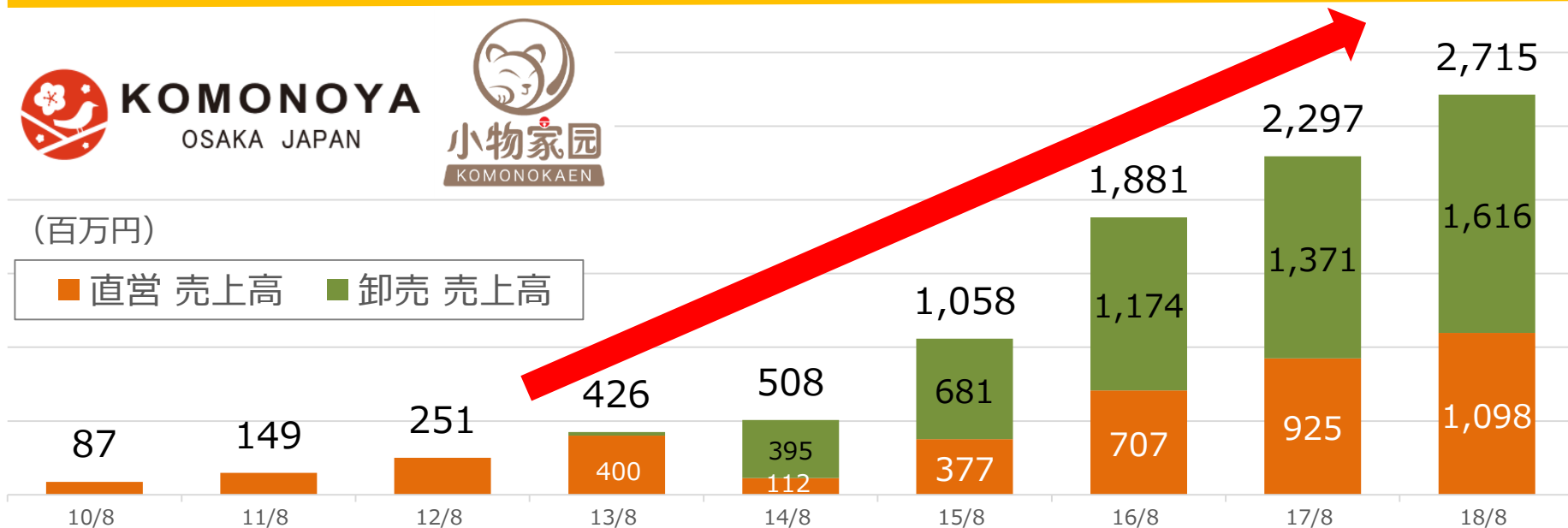


**KOMONOYA**  
OSAKA JAPAN



(百万円)

■ 直営 売上高 ■ 卸売 売上高



2018年5月 ウンタニー店 (タイ)

- ✓ 直営店舗で足場をしっかりと固めつつ、その周辺国への卸売（現地パートナーとの協業）に注力
- ✓ ほぼ当社商品で売場を構成する現地資本の均一ショップはミャンマーの17店、モンゴルの12店を筆頭に、その他の国々を含め約40店

海外事業	17/8	18/8	前年同期比
売上高	2,297百万円	2,715百万円	118.2%

## 海外事業の状況②

～出退店計画数と店舗数実績～

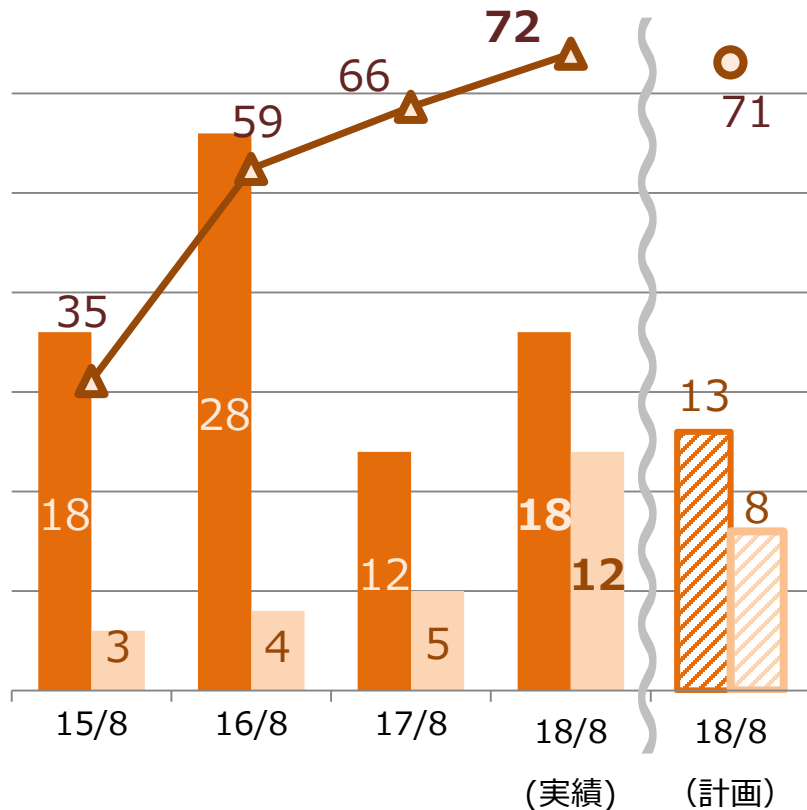


**KOMONOYA**  
OSAKA JAPAN



**小物家园**  
KOMONOKAEN

■ 出店 ■ 退店 ▲ 期末店舗数

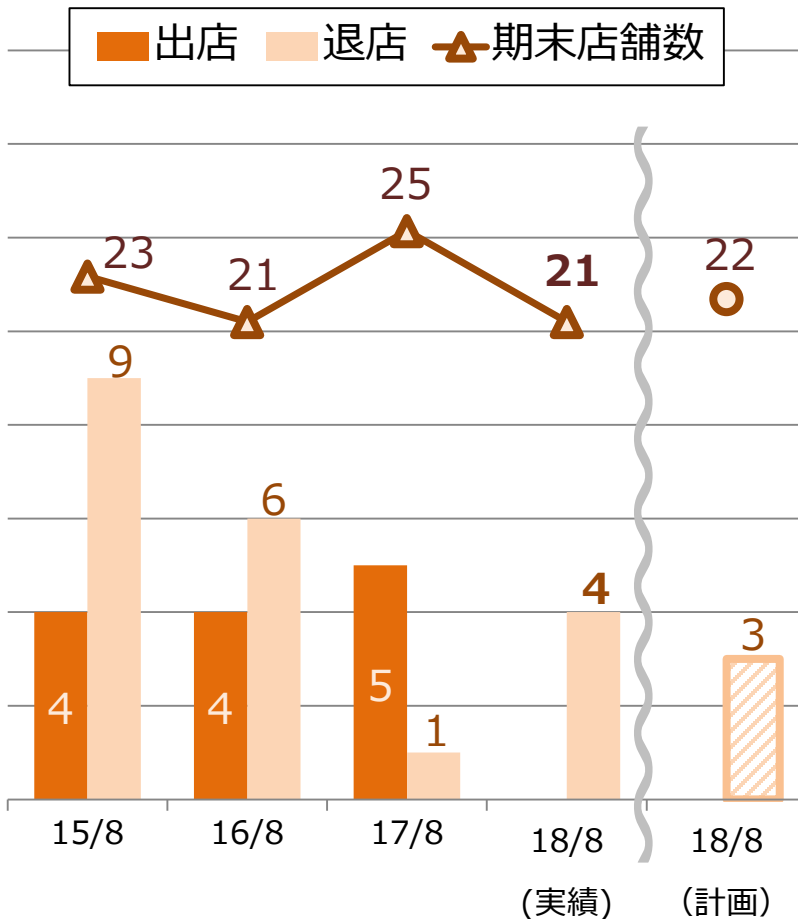


	出店	退店	期末店舗数 (18/8)
タイ	7	1	37
中国	-	7	2
マレーシア	5	1	9
ベトナム	-	3	11
ペルー	6	-	13
<b>合計</b>	<b>18</b>	<b>12</b>	<b>72</b>

- ✓ タイは、既存店が好調を取り戻しており、引き続き商品に注力しながら出店も積極的に進める
- ✓ マレーシアは、当期4月に販売子会社を現地パートナーへ譲渡。マレーシア経由でのシンガポールへの卸売は順調に拡大しており、引き続き重要市場として卸売に注力
- ✓ 中国は直営を縮小し、催事に注力
- ✓ ペルーの直営店は変わらず好調。前期からメキシコへの卸売を開始



～出退店計画数と店舗数実績～



2017年7月 神戸ハーバーランドumie店

- ✓ 4店退店し、**21店**となった
- ✓ 既存店売上高の対前期比は98.3%であったが、店舗ごとに応じた商品構成への入替えを順次進めており、売上拡大の勢いを取り戻してきている
- ✓ 新規出店は抑制し、既存店の収益性の向上に取り組む



2017年11月 ソストレネ・グレーネ プライムツリー赤池店

- ✓ 合併会社「(株)ヒルマージャパン」が運営。ヨーロッパ中心に200店舗以上の北欧雑貨スペシャリティストアを展開するブランド本社が40%出資
- ✓ 2016年10月28日、1号店となる表参道店のオープンを皮切りに、2018年8月末現在、4店舗展開。2018年11月、国分寺店（東京都国分寺市）をオープン予定
- ✓ 北欧雑貨をお手ごろな価格で販売、毎週約100アイテムの新商品を導入
- ✓ 国内市場にマッチした商品の投入やSNSを活用したブランディング強化で認知力を向上させ、合わせて多店舗展開を進めることで早期の収益化を目指す





平成30年4月2日付で、「リアル」という屋号で小型のディスカウントショップを運営する「有限会社リアル」の全株式を取得し、連結子会社化しました



✓ 大阪府および広島県内で4店舗展開

住道店（大阪府大東市）

府中店（広島県安芸郡）

舟入店（広島県広島市中区）

呉店（広島県呉市）



- ✓ 地域密着型であり、日用品全般を豊富に品揃え
- ✓ 同社の強みである商品調達力を当社100円ショップ事業に活用していく
- ✓ 本部機能の統合等による経費削減策などを実行し、収益性を向上することで、利益貢献度を高めていく

# 目次



## 決算概要

2018年8月期  
連結決算について

P2 – P6

## 事業別

2018年8月期  
各事業の状況について

P8 – P16

## 事業計画

**2019年8月期業績予想と  
各事業の取組みについて**

**P18 – P23**

## 参考資料

ワッツグループについて

P25 – P32



(単位：百万円)

業績予想	2018年8月期 第2四半期		2019年8月期 第2四半期 (予想)			2018年8月期		2019年8月期 (予想)		
		構成比		構成比	前期比		構成比		構成比	前期比
売上高	23,886	—	<b>25,400</b>	—	<b>106.3%</b>	49,444	—	<b>52,000</b>	—	105.2%
売上総利益	9,207	38.5%	—	—	—	18,779	38.0%	—	—	—
販売費及び一般管理費	8,613	36.1%	—	—	—	17,803	36.0%	—	—	—
営業利益	593	2.5%	<b>430</b>	<b>1.7%</b>	<b>72.5%</b>	975	2.0%	<b>1,080</b>	2.1%	110.7%
経常利益	602	2.5%	<b>430</b>	<b>1.7%</b>	<b>71.4%</b>	1,037	2.1%	<b>1,110</b>	2.1%	107.0%
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益	379	1.6%	<b>255</b>	<b>1.0%</b>	<b>67.2%</b>	633	1.3%	<b>650</b>	1.3%	102.5%
1株当たり当期 (四半期) 純利益 (円)	28.00		<b>18.82</b>			46.79		<b>47.98</b>		
ROE	3.8%		<b>2.4%</b>			6.2%		<b>6.1%</b>		

- ✓ 100円ショップの出退店計画  
 【出店】上期63店、下期52店、計115店  
 【退店】上期52店、下期32店、計84店  
 ➡ **純増31店**

- ✓ 上期を中心に不採算・低採算店舗の閉鎖及び積極的な改装を行うため、上期は減益となる見込み。一方で、下期から上期の新規出店や改装効果が利益寄与してくることで、通期では前期並みの営業利益率を確保できる見込み



## いい商品を安く 売る仕組みづくり の追求を継続

- ✓ ローコスト出退店
- ✓ ローコスト・オペレーション
- ✓ お買い得な実生活雑貨
- ✓ 接客力向上に向けた継続的な取り組み

## 100円ショップ事業

## Wattsブランド のブラッシュアップ

- ✓ おしゃれな生活を提案する売場・品揃え
- ✓ 「Watts」「Watts with」の出店モデルの確立
- ✓ POSシステムの活用と発注支援システムの高度化

## 進出国ごとの ビジネスモデル確立

- ✓ 独資現地法人での直営店・FC店展開
- ✓ 現地パートナーとの合弁会社設立
- ✓ 現地小売店への卸売による販路の拡大

## 海外事業



## その他業態

## 業容の拡大と 収益源の多角化 を図る

- ✓ 既存事業の成長と収益性の確保
- ✓ M&Aを含めた、新たな可能性の捕捉



## Wattsブランド店舗



- ✓ 「Watts」「Watts with」化へのリニューアルを計画的に進めていく。Wattsブランド店舗を新規出店と合わせて年間100店ペースで増やしていく
- ✓ 従来の「meets.」「silk」で培った「ローコスト出退店」、「ローコスト・オペレーション」のノウハウは活かしつつ、立地や客層に合わせた店舗モデルを確立し、顧客満足と売上・利益最大化の両立を図る
- ✓ 店舗向け商品レポートの配信やPOSによる販売分析により地域や客層などを考慮した売場作りを行う

## POSデータの活用



- ✓ 売れ筋・死に筋の正確な把握。滞留商品を削減、売れ筋商品や新規商品に入れ替えることで売場の商品鮮度を高める
- ✓ 発注支援システムを取り入れ、品切れによる販売機会ロスを防止
- ✓ ワッツブランドで蓄積した販売データを、「meets.」「silk」店舗にも共有することで季節や地域性にマッチしたタイムリーな売場作りを実施

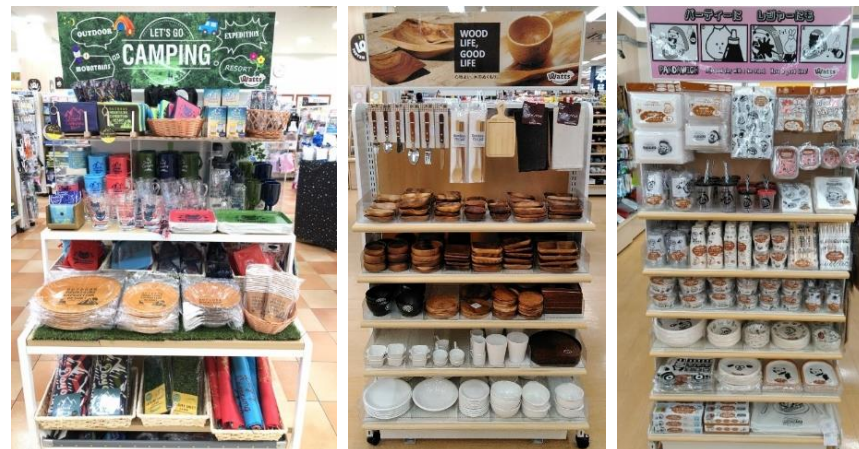


## 「WATT'S new」の展開



- ✓ 3ヶ月周期でテーマを決めディスプレイを大きく変化。ライフシーンがイメージできるようなコーナー展開を行い、若い女性層へのアピールを行う
- ✓ 2018年8月末現在、ワッツなんばマルイ店、ワッツ西武本川越ペペ店など4店舗で展開中

## 売場の活性化



- ✓ 本部主導による月替りの販促企画を実施  
※上の写真は月替販促企画の展開例
- ✓ 定番の消耗雑貨中心の品揃えから、嗜好品やおしゃれなアイテムの取扱いを増やす。新商品や季節商品も積極的に導入
- ✓ 高額商品の取扱いアイテム数を増やし、客単価アップを狙う
- ✓ 店舗形態ごとの担当専任化により、それぞれの運営スタイルに合った売場フォロー体制を確立する



## KOMONOYA(こものや)



## 小物家园(こものかえん)



### 【卸事業の拡大】

- ✓ 現在出荷実績のある国と地域は、中国、韓国、台湾、ミャンマー、シンガポール、モンゴル、ニュージーランド、オーストラリア、メキシコ、ブルネイ、フィリピン etc. 卸売も含めると当社商品のみを扱う小売店は“110店舗”以上。引き続き有望市場への参入を視野に入れていく

### 【商品力の強化】

- ✓ 既存の100円商材に加え、海外向け専用商品の供給にも注力。メイドインジャパンの商品や高額品など海外で需要が高い商品の調達を積極的に進めていく
- ✓ 海外へのタイムリーな出荷に対応するための商品供給体制を構築する

### 【既存市場のレベルアップ】

- ✓ 当期に立ち上げた新規部署によって既存市場・店舗のサポート体制を再構築。売場管理レベルを上げることで売上拡大に繋げる。特にタイ、ベトナム、ミャンマーを重要市場と位置づけ、積極的な運営支援を行う



- 新店3店舗計画。ロケーションを厳選し、確実に利益の取れる事業として成長する
- トrend商品をはじめ、ギフト関連や手作り感のあるアイテムを強化し、リピーターの獲得を目指す
- 本部主導でTrend情報やMDスケジュール、商品の展開方法などを店舗に配信し、高いクオリティの売場作りを実現する



- 新店2店舗計画。商品改革に注力し日本市場にマッチしたMDを推進する。定番・売れ筋商品の安定供給にも注力する
- SNSを活用した情報の発信とメディアでの露出を増やす施策により、日本でのブランド確立を目指す。また、ワークショップや店内イベントを定期実施することで顧客満足度向上やPR効果にも期待



- WEBサイトの多店舗化と専売商品の開発により売上拡大を図る
- 得意とするエレガント雑貨商品の営業強化



- 100円ショップ事業とシナジー効果が見込める体制の構築
- 折込チラシなどを使った販促活動の充実



# 目次



## 決算概要

2018年8月期  
連結決算について

P2 – P6

## 事業別

2018年8月期  
各事業の状況について

P8 – P16

## 事業計画

2019年8月期業績予想と  
各事業の取組みについて

P18 – P23

## 参考資料

ワッツグループについて

P25 – P32



## 国内100円ショップ事業



## 海外事業



## 国内その他業態



# その他事業の概要



心地よい生活を提案する  
雑貨店「ブオーナ・ビータ」  
2018年8月末現在、  
21店舗。写真は、  
2017年2月オープンの  
三宮オーパ2店



北欧ライフスタイル雑貨の  
合併事業「ソストレーネ・  
グレーネ」2018年8月末  
現在、4店舗



100円ショップと食品  
スーパーのコラボ店舗



地域密着の小型ディス  
カウントショップ。2018  
年8月末現在、4店舗



ヨーロッパアンティスト  
の雑貨を展開する  
輸入卸事業



## twitter

[https://twitter.com/watts\\_100/](https://twitter.com/watts_100/)



・ワッツ公式twitter  
おすすめ商品の写真や、月替りの販促企画のお知らせなどを発信。100円ショップの情報が掲載されたブログや記事などのリツイートも行う

- ✓ 当社100円ショップ事業において公式SNSアカウントをスタート！
- ✓ 新規顧客の獲得・既存顧客の来店頻度アップにつなげる



## Instagram

[https://www.instagram.com/watts\\_100/](https://www.instagram.com/watts_100/)



・ワッツ公式Instagram  
twitter同様に当社100円ショップのおすすめ商品情報などをお知らせ。より多くの方にフォローいただけるように魅力的な情報発信を行う



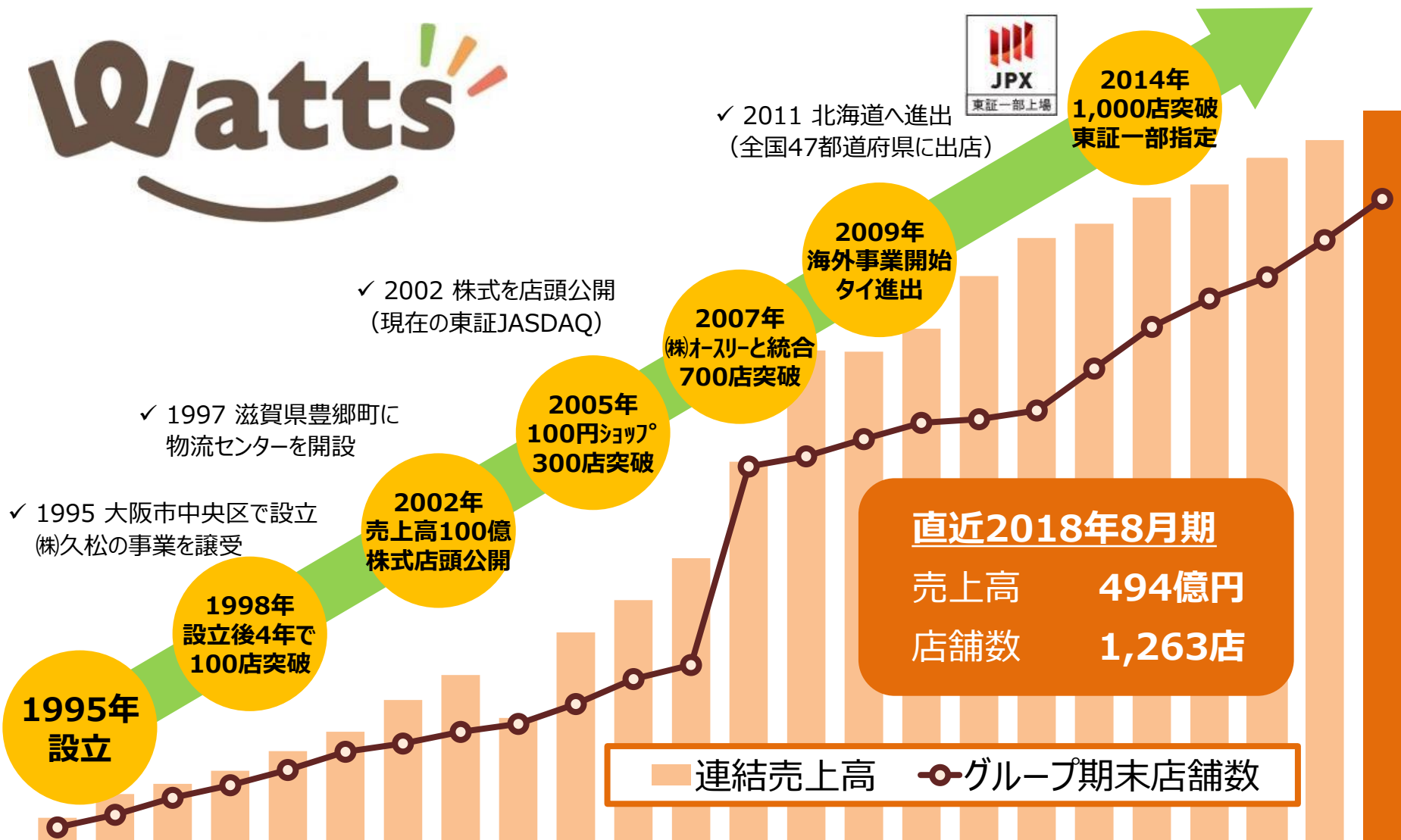
友だちだからお得な情報届けます。

**LINE@**  
**友だち募集中。**

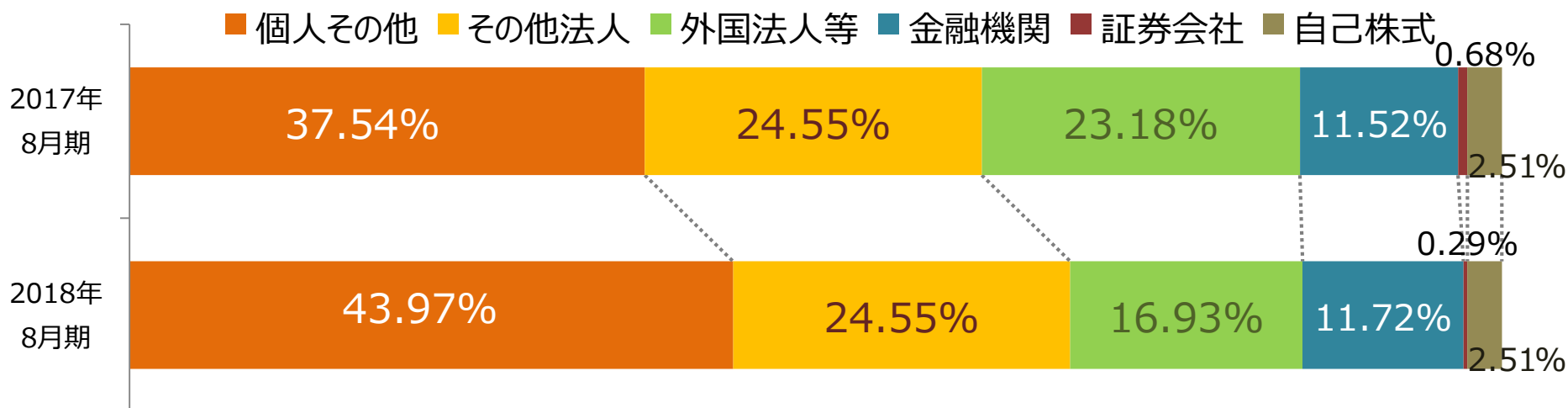
友だちになると情報などが受け取れるLINE@もいくつかの店舗で開始



設立	1995年2月22日（現在は、第25期）
社名の由来	おもろいことを「ワッ」とやろう！
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード： <b>2735</b> )
資本金	4億4,029万円（18/8/31現在）
本社所在地	大阪市中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル5階
主な業務	日用品・雑貨の卸小売業 (主に <b>100円ショップの運営</b> )
グループ従業員数	3,245名（18/8/31現在） ※パート・アルバイトを含む
グループ店舗数	1,263店（18/8/31現在） ※その他店舗を含む



# 株主構成



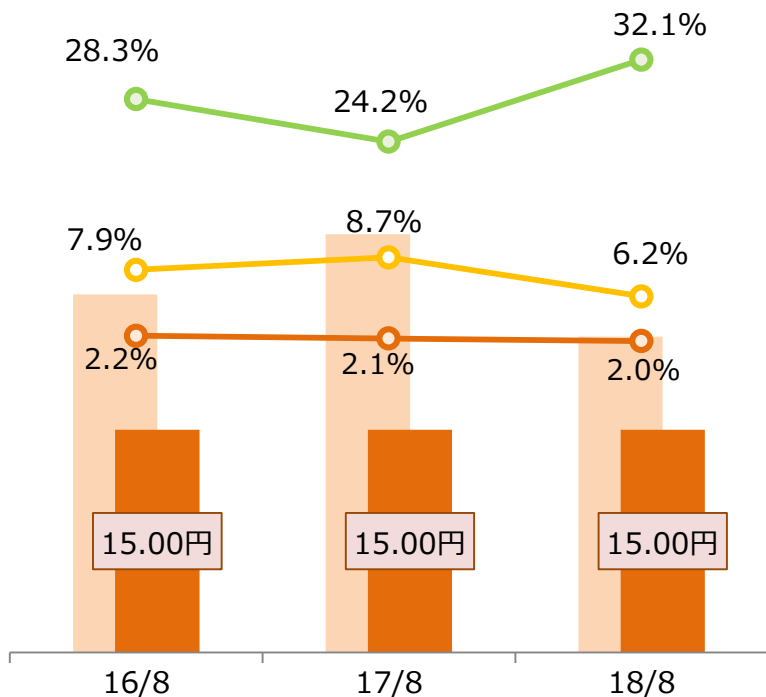
	2017年8月期	2018年8月期	前期比
発行済株式総数	13,958,800株	13,958,800株	-
株主数	8,316名	15,225名	+6,909名
所有比率			
個人その他	37.54%	43.97%	+6.43 <sup>ポ</sup>
その他法人	24.55%	24.55%	±0 <sup>ポ</sup>
外国法人等	23.18%	16.93%	△6.25 <sup>ポ</sup>
金融機関	11.52%	11.72%	+0.20 <sup>ポ</sup>
証券会社	0.68%	0.29%	△0.39 <sup>ポ</sup>
自己株式	2.51%	2.51%	±0 <sup>ポ</sup>

- ✓ 株主数は、前期末から6,909名増加
- ✓ 個人株主所有比率は前期比6.43ポイント増加、外国法人等所有比率が6.25ポイント減少
- ✓ まずはしっかりと業績を上げていくことで株主様への還元原資を確保していく

(注) 小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。



ワッツは、「安定した配当を継続して行う」ことが、株主の皆様への利益還元であると考えています。



	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期
1株当たり当期純利益	53.04円	61.96円	46.79円
1株当たり配当金	15.00円	15.00円	15.00円
配当性向	28.3%	24.2%	32.1%
配当利回り	1.6%	1.1%	1.6%
ROE (株主資本利益率)	7.9%	8.7%	6.2%
DOE (株主資本配当率)	2.2%	2.1%	2.0%
決算基準日の株価 (8/31)	959円	1,305円	950円

※各事業年度の配当利回りは決算基準日の株価で算出  
 ※当期の1株当たり配当金は、本日現在の配当予想



# 株主優待制度



保有株式数または保有期間	株主優待内容
100株以上1,000株未満	A
1,000株以上 または3年以上継続保有	A + B



- ✓ 写真は、2018年8月期の優待内容です
- ✓ みなさまのお声をもとに、より魅力ある優待を企画してまいります



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社ワッツ 常務取締役経営企画室長 森 秀人

e-mail：[ir@watts-jp.com](mailto:ir@watts-jp.com)

TEL： 06-4792-3280